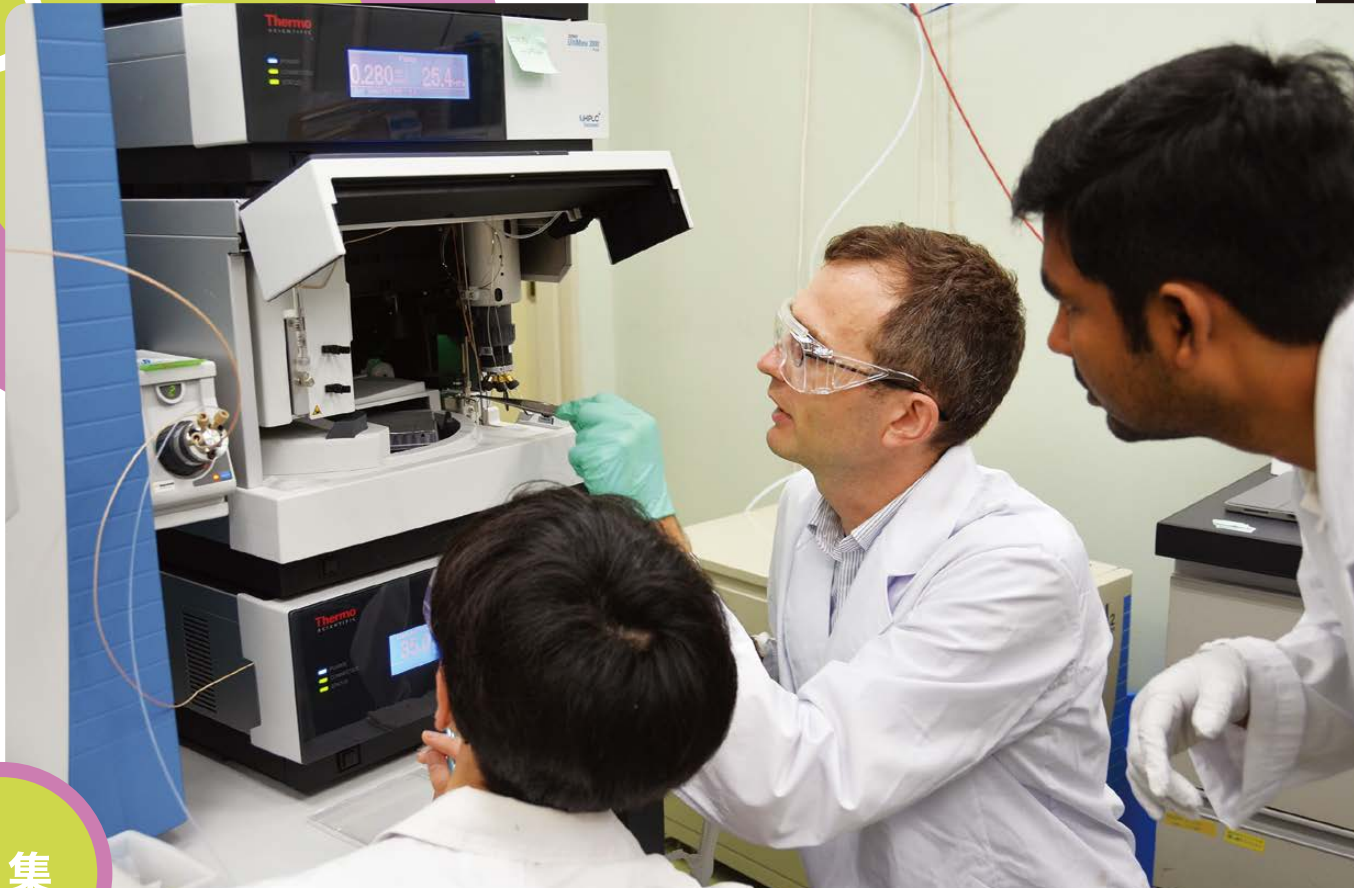


名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



## 特集

研究力強化に努め、「世界への発信」と「地域への貢献」に取り組みます(→P1)

特集① 名市大の研究力強化

**なごや先端研究開発センターを開設しました**

特集② 令和6年能登半島地震への支援としてDMAT・DPATを派遣しました

特集③ 医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻(設置構想中)

**「冬のオープンキャンパス」を開催しました**

01 特集

03 NCU TRY!!

04 TOPICS

07 学生の活躍

09 学生の受賞/教員著書・発行物紹介

10 国際交流/永年勤続表彰

11 イベントカレンダー/受賞関連/交流会だより/寄附顕彰

## DONATION

あなたの力が支えます  
**ご寄附のお願い**

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課

tel.052-853-8005

## 名市大の研究力強化

# なごや先端研究開発センターを開設しました

本学は、8学部5病院体制の総合大学として、大学の使命である「教育」「研究」「社会貢献」「医療」に取り組んでいます。私たちの暮らしを支える「研究」に、さらなる誇りと情熱を持って取り組もうと、2023年12月に「なごや先端研究開発センター」を開設しました。

研究環境や支援体制を整えることで研究人材の育成を強化するとともに、国際水準の臨床研究や医師主導治験の中心的役割を担う臨床研究中核病院の承認を目指すなど、研究力のさらなる向上に努めます。先端的な研究成果を広く社会に還元することで世界の諸問題を解決することを目標とします。



センターについて→



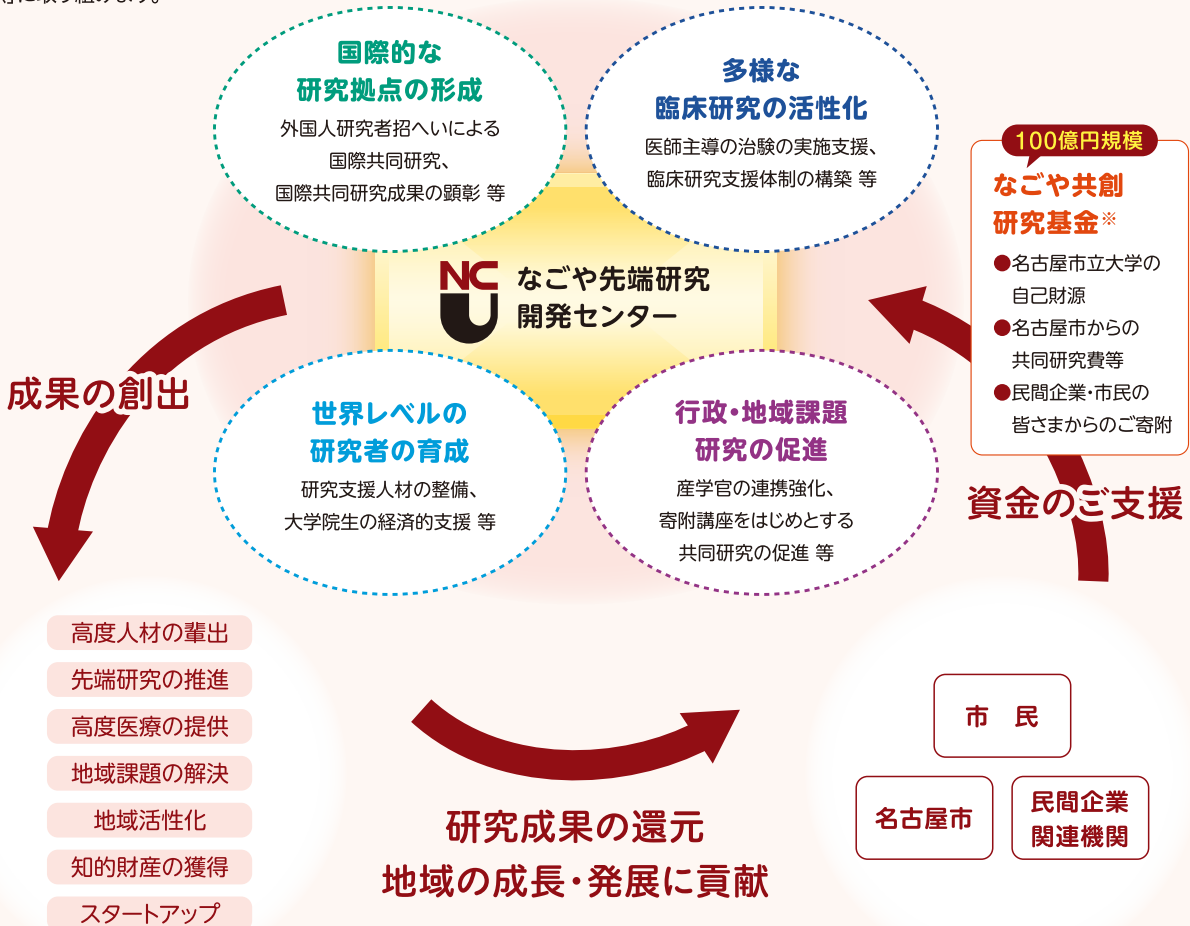
英語版パンフレットは  
こちらから→



### なごや先端研究開発センターの使命

なごや先端研究開発センターは、「**国際的な研究拠点の形成**」、「**多様な臨床研究の活性化**」、「**世界レベルの研究者の育成**」、「**行政・地域課題研究の促進**」を4つの柱として、地域から地球規模に至る社会課題を解決し、よりよい社会の構築に寄与していきます。

そのため、名古屋市立大学の経営努力による自己財源50億円に加え、名古屋市からの共同研究費等、民間企業・関係機関・市民の皆さまからのご寄附により研究資金100億円を目指す**なごや共創研究基金**※を新設します。その基金を活用し、研究力強化に努め、「世界への発信」と「地域への貢献」に取り組みます。



#### ※なごや共創研究基金とは

本学の自己資金の重点的な投資と当地域の行政課題に取り組むための名古屋市からの共同研究費（寄附講座）等を主な研究資金としています。それを基に、学内に多様な研究を活性化させ、国際的な研究拠点の形成と世界レベルの研究者の育成、地域社会へのさらなる貢献を目指すとともに、その研究成果としての知的財産を次の研究資金へと再投資する持続可能な研究サイクルを確立します。

本学をご支援いただける民間企業や市民の皆さまからのご寄附なども募りながら、まずは、今後10年程度を目途に研究資金100億円を目指します。

特集  
2

# 令和6年能登半島地震への支援として DMAT・DPATを派遣しました



2024年1月1日(月)に発生した令和6年能登半島地震に対して、本学医学部附属病院群から災害派遣医療チーム(DMAT※)及び災害派遣精神医療チーム(DPAT※)を派遣しました。被災地の病院における入院患者の移送や、被災者と支援者の双方に対する精神的支援を行うなどそれぞれ支援活動に従事しました。また、災害支援ナースと臨床検査技師も派遣し、避難所で感染症の被災者の支援や深部静脈血栓症(DVT)検診業務に従事しました。さらに、本学医学部附属病院群では、石川県内の高齢者施設から広域医療搬送された入所者の受け入れなどもしております。被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、今後も医療支援に貢献してまいります。

※DMATとは  
大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場で急性期から活動する、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成される専門的な訓練を受けた医療チーム

※DPATとは  
自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う、精神科医師、看護師、業務調整員で構成される専門的な研修・訓練を受けた精神医療チーム



出発時の東部医療センターDMAT第1班(1月2日)



出発時の市立大学病院DPAT隊(1月5日)

## DMAT・DPAT派遣状況

DMAT (2024年2月22日時点)

病院	派遣期間	チーム構成員
市立大学病院	2024年1月3日(水)～7日(日)	医師2名、看護師2名、業務調整員1名
	2024年1月7日(日)～13日(土)	医師2名、看護師2名、業務調整員2名 ※業務調整員1名は、みどり市民病院からの応援
	2024年1月24日(水)～28日(日)	医師1名、看護師1名、業務調整員1名
	2024年2月13日(火)～16日(金)	医師1名
東部医療センター	2024年1月2日(火)～6日(土)	医師1名、看護師2名、業務調整員2名
	2024年1月5日(金)～10日(水)	業務調整員1名
	2024年1月7日(日)～13日(土)	医師1名、看護師2名、業務調整員1名 ※業務調整員1名は、みどり市民病院からの応援
	2024年1月18日(木)～26日(金)	業務調整員1名
	2024年1月20日(土)～25日(木)	医師1名、看護師2名、業務調整員1名
西部医療センター	2024年1月4日(木)～7日(日)	医師3名、看護師2名、業務調整員2名
	2024年2月1日(木)～5日(月)	医師1名、看護師3名、業務調整員2名 ※業務調整員1名は、みらい光生病院からの応援

## DPAT

病院	派遣期間	チーム構成員
市立大学病院	2024年1月5日(金)～8日(月)	医師1名、看護師1名、業務調整員1名

特集  
3

# 医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻(設置構想中) 「冬のオープンキャンパス」を 開催しました



2023年12月24日(日)、医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻(2025年4月設置構想中)における2回目のオープンキャンパスを桜山(川澄)キャンパスにて開催(一部オンライン同時配信)し、高校1・2年生を中心に県内外から約100名が参加しました。

本学では、国内最大級の規模を持つ医学部附属病院群での充実した臨床実習や医・薬・看をはじめとした幅広い研究に取り組んでいます。リハビリテーションの社会的ニーズが高まっている中で、本学の強みを生かしたカリキュラムで高い専門性と臨床実践能力を備えた人材育成を目指す新専攻の特色を説明しました。また、実際に理学療法士・作業療法士の仕事や専門機器に触れる体験会を市立大学病院リハビリテーション技術科で開催しました。

参加者からは、「最新の機器がたくさんあって、この大学なら最先端の医療(療法)を学べると思った。今回のオープンキャンパスでさらに名古屋市立大学に興味を持つことができた(高1)」「理学療法に興味があって参加しました。体験があったので、実際の実習の様子をイメージしながら参加できました。受験候補として考えてみたいと思いました(高2)」などの声が寄せられました。



専攻の紹介(桜山(川澄)キャンパスでの講演会)



市立大学病院でのリハビリテーション体験会(Yパランス)



市立大学病院でのリハビリテーション体験会(hug(起立移乗支援ロボット)と腰HAL)



## KEY PERSON



経済学研究科

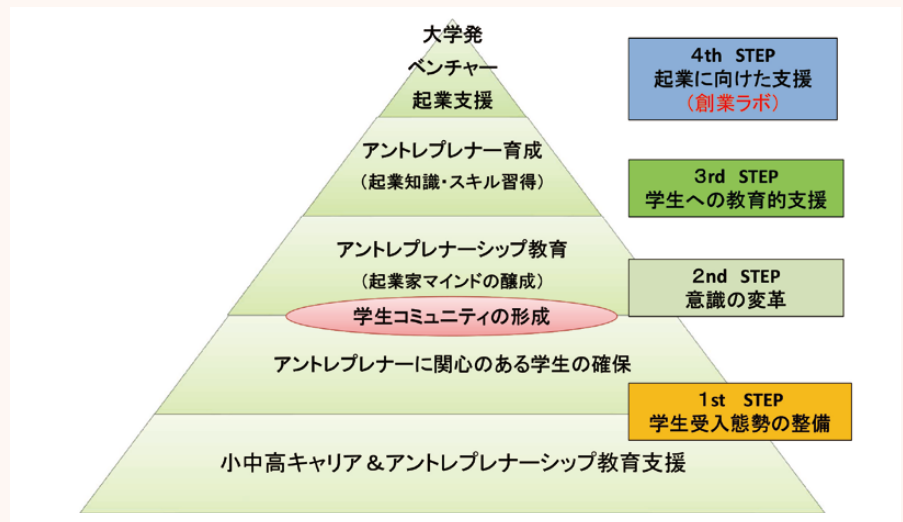


教授 鵜飼 宏成

アントレプレナーシップ教育とは、起業家精神と起業家的な資質や行動能力を育む教育のことです。いま、わが国では、優れた人材・技術・資金とスタートアップ(革新的なビジネスモデルを創る企業)を結びつけ、成長するベンチャー企業を次々と生み出すエコシステム(ビジネス生態系)の底上げを行っています。このエコシステムを形成するために、起業家、起業支援者、企業、大学、金融機関、公的機関等が結びついたCentral Japan Startup Ecosystem Consortiumという組織があります。本学はその組織の取り組みに参加することで、イノベーション創出の鍵となるスタートアップの輩出に向け、支援体制の強化を進めています。

本学では、2020年度以降、産学官共創イノベーションセンターが中心となり、2つの領域で、学生、教職員の社会実装に向けた挑戦を支える仕組みを整備してきました。それらは、(A)アントレプレナーシップの育成(人づくり)と(B)学習や研究成果を生かした大学発ベンチャーの輩出(事業づくり)です(図)。(A)の主な取り組みとして、アントレプレナーに関心のある学生の確保のため、授業と課外活動でアントレプレナーシップ教育を実践し、受講生の中で希望する者に対してアントレプレナーとしての成長を促す起業教育を実践しています。また、高校生を対象にしたアントレプレナーシップイベントを開催するなど、アントレプレナー精神の醸成にも取り組んでいます。(B)では、起業を意識した学生や教職員に向けた大学発ベンチャーの起業支援として、相談体制を充実させるなどのサポートを行っています。

私たちは、「〇をやりたい」「△を生かしたい」「□の克服が求められているようだ」を考える挑戦者の伴走者です。「相談」を最も重視しています。相談をきっかけに、学内と学外のヒト・モノ・カネ・情報のリソースへ効果的にアクセスし、目的に応じたビジネスモデルを探究するFirst Followerでありたいと思っています。



(図)

### 名市大初! 学生発ベンチャー誕生!

2023年12月4日(月)、本学経済学部在学中の森田結人さんが起業した「クレイジーゼロ株式会社」(動画の制作やSNSの戦略立案などを行う会社)に、名市大発ベンチャー称号の授与を行いました。学生発ベンチャーとしては初の授与であり、名市大発ベンチャーは計9社となりました(2024年1月時点)。また、森田さんは同年12月19日(火)に開催された学生向けセミナー「学生挑戦者による学生のためのお話し&交流会」に登壇し、学生のうちから挑戦を志したきっかけ、挑戦により得たもの、これから挑戦する学生に伝えたいことについて講演するなど、本学のアントレプレナーシップ醸成に向けた取り組みにおいて連携協力しています。本学は今後も学生・教職員問わず名市大発ベンチャーの創出支援および名市大発ベンチャーとの連携事業を推進し、本学発のイノベーション創出による豊かな社会の発展に寄与してまいります。



学生向けセミナーの実施風景



森田さんによる講演の様子

### 高校生対象ビジネスプランコンテスト「アイデア・ひらめきコンテスト」を開催しました!

2023年11~12月にかけて、高校生を対象としたビジネスプランコンテスト「アイデア・ひらめきコンテスト」を開催いたしました。コンテスト当日に世界規模の課題を高校生チームへ提示し、6時間かけて課題の解決案を検討、その後起業家や経営者等の審査員を前にプレゼンテーションを行いました。各高校生チームから生まれた大人では思いつかないような独創的なアイデアについて、審査員から事業化に向けた具体的なアドバイスが送られ、参加高校生の創造力・思考力・プレゼン力の成長および起業・経営知識の向上につながりました。コンテスト上位のチームにはメンタリングの機会を設け、外部ビジネスプランコンテスト挑戦に向けたサポートを引き続き行っています。



プレゼンテーションの様子



参加者による集合写真



# TOPICS


名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

DATE 2023.12.17

**薬学部**

## ペアレンツ・カミングデーを開催しました

2023年12月17日(日)ペアレンツ・カミングデーを開催し、344名の保護者の方に参加していただきました。教員や学生による講演・学食体験・校内見学を実施。また、教員との懇談コーナーも設けました。参加された保護者のアンケートには、「良い環境で勉強できて良かった」等のお声を頂きました。特に、学生による講演が「生の声を聞いて良かった」「参考になる」と好評。本学薬学部で学生が過ごしている環境・生活・教育・卒業後の進路などを保護者を知っていただくことができました。



教員・学生による講演


DATE 2023.11.17

**薬学部**

## 模擬薬局什器贈呈式を行いました

2023年11月17日(金)、中日販売株式会社(本社：名古屋市、代表取締役：林誠浩)様より、薬学部内に設置している模擬薬局のリニューアルに際し、SDGsの素材を生かした相談カウンター、投薬カウンター、調剤台などの設備一式を寄贈していただきました。ご寄附いただくにあたり、感謝状贈呈式を実施いたしました。

■寄贈物品について  
相談カウンター、投薬カウンター、調剤台などの什器類48点




感謝状贈呈式

DATE 2023.12.20

**SDGsセンター**

## SDGsセンターシンポジウムを開催しました!

2023年12月20日(水)、名古屋市立大学SDGsセンターは、「ともに考える教育の未来」と題したシンポジウムを桜山キャンパスにて開催しました。ESD(持続可能な社会づくりの担い手を育む教育)・国際理解教育が専門の聖心女子大学 現代教養学部 教育学科の永田佳之教授をお招きして、「教育の未来を再想像する:ユネスコの報告書からの捉え直し」と題した基調講演を行ったほか、学生発表も同時に行われ、ペットボトルをリサイクルするためのペンギン型ボックスの取り組み内容やその成果等が発表されました。当日は100名以上が来場し、参加者全員がSDGs実現の鍵となるESDを通して教育の未来について考えました。




名古屋市立大学の学生によるSDGs達成に向けた取り組み発表

**大学院 医学研究科**

## 医学研究科の齊藤貴志教授が2年連続 Highly Cited Researcher 2023 として選出されました!

Clarivate社は毎年、過去11年間の論文の被引用件数が上位0.1%の研究者をHighly Cited Researchers(高被引用論文著者)として選出しており、2023年は世界の67の国と地域から6,849名が選出され、本学からは医学研究科の齊藤貴志教授が2年連続で選ばれました。齊藤教授は、アルツハイマー病の病理・病態の完全モデル化を通して、発症メカニズムの解明、治療・予防に直結する創薬標的の探索、そして病態把握のためのバイオマーカーの同定に資する研究に継続的に取り組んでいます。国内外で多くの共同研究を展開し、毎年15本以上の国際共著論文も報告しています。今回の選出を受け、齊藤教授からは「10年後にも再度選出されるように、研究成果を積み上げていきたい」と思っていますと熱意あるコメントを頂きました。



医学研究科 齊藤貴志教授

DATE 2024.2.11

**高等教育院**

## 市立大学寄附講座(近世名古屋学)・なごや学研究センター開設記念連続講座(第3回)を開催しました

2024年2月11日(日)、名古屋市立大学に昨年9月に着任した千田嘉博教授による連続講座(第3回)を名古屋市教育センターで開催しました。「家康の城の特色ー城の歴史的意義を探るー」をテーマに、約2.2倍の抽選に当選された市民約800名の方が熱心に講座に耳を傾けました。

第1部では、各地の城の石垣修復に携わる佐賀大学の宮武正登教授をゲストに、「石垣に見る家康の築城技法ー岡崎城から江戸城へー」と題して、石垣構造の丁寧な考察により、築城の歴史を読み解けるということをご講演いただきました。

第2部では、リレー講演として千田嘉博教授が、「家康の城ー集大成としての名古屋城ー」と題して、徳川家康と対立した武田信玄が城づくりに用いていた馬出しの技術を、家康が自身の城づくりに取り入れており、名古屋城にもその特色があることをわかりやすく解説しました。

第3部では、宮武教授と千田教授の特別対談が行われ、城づくりが苦手とされた家康ですが、実際はその後の諸大名の城づくりに影響を与え、家康の城は重要な歴史的意味を持っていることが話題となり、講演会は大盛況に終わりました。

参加者からは「石垣や馬出し等の城の特徴に興味を持って、有名な城だけでなく、身近なお城にも訪れてみようと思った」「時間が経つのを忘れて楽しめた。」等、次回の講演を望む声が多く寄せられました。



## 2023年度「近世名古屋学」講座活動報告

寄附講座開設記念として、名古屋が誇る三英傑「信長・秀吉・家康」をテーマに、名古屋市立大学千田嘉博教授の基調講演を軸とした全3回の連続講座を「なごや学研究センター」が企画し、名古屋市との協力を得て開催され、多くの市民の方に来場いただきました。

また2023年度後期の教養教育科目として、1年生を中心に、全学部の学生が受講する「近世名古屋の歴史」を開講し、千田嘉博教授が授業を担当しました。全15回の授業では、滝子キャンパス内にある5世紀初頭の古墳の試掘現場の見学や名古屋市学芸員をゲストスピーカーとして招聘するなど、受講生約140名に対し、名古屋への興味はもちろん、近世名古屋学の見地から、「名古屋という土地が歴史的に見てどれほど素晴らしい場所なのか」といった郷土への愛着や誇りを持ってもらえるような授業を展開しました。

## 新型コロナウイルス感染症対応記録集を作成しました

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられたことから、これをひとつの区切りとして、「新型コロナウイルス感染症対応記録集」を作成しました。コロナ禍において本学では、感染対策に配慮し授業や課外活動を実施してきました。また附属病院では、コロナ禍初期より、患者の受入れやワクチン接種への協力など様々な取り組みを行って来ました。これらの取り組みを記録した本記録集が、ポスト・コロナ時代における大学運営を考えるための資料として、また、今後も発生するであろう不測の事態を乗り越えるための参考資料としてお役に立ちましたら幸いです。



記録集はこちらから↑

DATE 2024.2.17

大学院 看護学研究科

## なごや看護生涯学習公開講演会を開催しました

2024年2月17日(土)、淑徳大学看護栄養学部准教授 坂井志織氏をお招きし、「『しびれている身体で生きる』から学ぶ 現象学的研究成果と看護ケアイノベーション」をテーマにご講演いただきました。一見すると病がわかりづらい・伝わりづらい「しびれ」や高次脳機能障害、慢性疾患などの患者経験を、記述的に示す現象学のアプローチにより理解し、看護につなげていく取り組みについて具体的な事例を挙げてご説明いただきました。Zoomによる遠隔ライブセミナー形式での講演でしたが、わかりやすい説明が参加者にも大変好評で、盛況に終わりました。



講演会の様子

DATE 2023.11.28-29

## 看護学部 名古屋市立大学病院 看護学部陸前高田市卒業生のフォローアップ研修を実施しました

本学では、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市と名古屋市からの協力要請を受け、2013年度～2017年度の5年間、看護学部の入学試験において陸前高田市出身の学生を対象とした特別の推薦入試枠を設け、各年度2名ずつ受け入れを行いました。そして2018年度からは、岩手県に戻り就職した卒業生たちに地元を支える中核的な看護師になってもらえるようフォローアップ研修を行っており、今年度は11月28日(火)～29日(水)に、コロナ禍での中断を経て4年ぶりに実施しました。

28日は市立大学病院の病棟において担当看護師と共に患者さんのケアにあたり、29日は看護学部において看護実践における成長と課題をテーマに、学部長等とゼミ形式で意見交換を行いました。地元において医療で復興を支える卒業生の成長した姿に、接した本学教職員達も刺激を受けていました。



泌尿器科病棟において看護師から点滴の指導を受ける卒業生の村上さん(右)



救命救急センターにおいて看護師の説明に耳を傾ける卒業生の松尾さん(右)

DATE 2023.12.13/20

## 経済学部 名古屋市経済局職員向け研修会 「リスクリソング講座 政策のための経済学・経営学入門」を開催しました

2023年12月13日(水)、12月20日(水)の2日間にわたり、都市政策研究センターが名古屋市より受託し、本学経済学部教員を講師として、「リスクリソング講座 政策のための経済学・経営学入門」を開催しました。名古屋市経済局で取り組む経済施策の効率的な運用実施の一助とするために、「①経済学の基礎、経済政策②会社経営に関する基礎的な事項③財務諸表の見方、財務分析の手法④会社に求められる社会的活動」の4コマについて、各90分間の講義を実施しました。各講義20名程の参加者があり、参加者同士活発な議論も行われるなど良い学びの機会となりました。参加者からも好評で、希望したが参加できなかった方が多かったこともあり、来年度も継続してほしいという意見が多数あがるほどでした。



講座の様子

DATE 2024.2.20-25

芸術工学部 大学院 芸術工学研究科

## 卒展2024開催報告

2024年2月20日(火)～2月25日(日)の期間、北千種キャンパスと市民ギャラリー矢田において、芸術工学部4年生と大学院生による卒業修了制作展を開催しました。



展示作品

映像、メディアアート、サウンド、UI/UX、プロダクト、グラフィック、3DCG、建築、都市計画、ランドスケープなどの様々なテーマを通じて、現代社会と都市環境へのデザイン提案を目指した作品を展示しました。多くの来場者から好評をいただき、学生生活における集大成となる制作展となりました。

DATE 2023.12.23

大学院 看護学研究科

## なごや看護実践セミナーを開催しました

2023年12月23日(土)、看護保健医療福祉職者を対象に、「急変させないためのアセスメント能力を高めよう(ベーシック)」を実施しました。セミナー終了後のアンケートでは、「他のセミナーではアウトプットの機会が少なく、理解してすぐに実践するのが難しいと感じていたが、今回はグループワークもあり具体的な事例を通して理解を深められてとても有意義だった」「実際の臨床の場面を具体的に思い浮かべてアセスメントする練習となりました」などの声をいただき、受講者にとって充実した学びの場となりました。



グループワークの様子



DATE 2024.1.21

共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)・  
近未来こども環境デザイン拠点 主催  
「少子化に関する国際対話イベント」を開催しました

本学は「近未来こども環境デザイン拠点」を設置し「孤育てが消え、こどもと家族の笑い声があふれる街」の実現に取り組んでいます。2024年1月21日(日)、名古屋国際センターにおいて、名古屋市、中部経済連合会、名古屋商工会議所、国連人口基金の共催による少子化に関する国際対話イベントを開催しました。香港科学技術大学のギテル＝パステン教授による各国の少子化政策についての基調講演および国内外の様々な事例紹介がなされた後、登壇者らによるパネルディスカッションを行い、名古屋市、ひいては日本の、都市部・地方の政策の方向性について熱い議論が交わされました。参加された市民の皆さんのご意見も頂き、テレビメディアなどいくつかのメディアからも取り上げられ重要なイベントとなりました。



登壇者らによる集合写真

DATE 2023.12.24



ご講演いただいた先生方  
(左から山田先生、後藤先生、吉田先生、佐藤先生)

名古屋市立大学大学史資料館シンポジウムを  
開催しました

2023年12月24日(日)に、本学在学生・卒業生・教職員、一般の方を対象に、オンラインにて大学史資料館シンポジウムを開催しました。開学から名古屋市立大学を築き上げてきた学部・研究科にスポットを当てる企画の第一弾として、人文社会学部・人間文化研究科を取り上げ、シンポジウム前半では、本学名誉教授、椋山学園大学前学長・後藤宗理先生、本学高等教育院特任教授・吉田一彦先生、本学大学院人間文化研究科准教授・佐藤美弥先生、3名により、人文社会学部・人間文化研究科の過去・現在・未来について講演いただきました。後半には、本学大学史資料館館長、大学院人間文化研究科教授・山田美香先生のコーディネートのもと、講演いただいた3名の先生方をパネリストに迎え、「人文社会学部の歩み」と題したパネルディスカッションを行いました。シンポジウムには、31名の方にご参加いただき、アンケートには当時は懐かしむ声も寄せられました。



DATE 2023.12.21

みどり市民病院 みどり市民病院で  
クリスマスコンサートを開催しました

2023年12月21日(木)にみどり市民病院にて、感染症・総合内科 長谷川千尋先生率いる「翡翠～HISUI～」の方々にクリスマスコンサートを開催しました。チェロアンサンブル翡翠は昨年4月より大学病院となったみどり市民病院を応援するため東海地方のアマチュアチェリストにより結成されました。翡翠の名前の由来は病院が宝石のヒスイ、鳥のカワセミ(漢字で「翡翠」と書きます)のように地域で「かがやくみどり」市民病院となる事を期待して名付けられました。

当日は入院患者さんを中心に会場を埋め尽くすほどたくさんの方がお越しになりました。演奏は聴き馴染みのある8曲をチェロの7重奏で演奏され、特に「青い山脈」はリズムカルな演奏で、手拍子や歌詞を口ずさみ盛り上がりました。観客の皆さんやスタッフにとって普段は体験できない生演奏を聴けてとても癒されたひと時となりました。



演奏会の様子

みどり市民病院 みどり市民病院に  
ヘルスケアアートが描かれました

院内美化プロジェクトを立ち上げ、約3か月に渡り待合スペースの壁面装飾や中庭の整備を行いました。プロジェクトは、ヘルスケアアートの実績がある本学特任教授の鈴木賢一先生、椋山学園大学准教授の阿部順子先生、名古屋短期大学准教授の高野真悟先生と上記3大学の学生に協力いただきました。

1階受付前待合スペースの大鏡、中庭、小児科待合室・診察室及び2階の待合スペースの整備が完了しました。引き続き病院スタッフ一同、利用者の皆さんに快適に過ごしていただけるような環境づくりを目指してまいります。



1階受付前待合スペース大鏡の装飾



小児科待合室



インタビューの様子(経済学部卒業生 愛知製鋼株式会社 代表取締役社長 後藤尚英さん)

大学ウェブサイト「卒業生の声」を更新しました

本学の魅力をPRする特設サイト「見る・聞く・知る名市大」に、本学卒業生のインタビュー記事「卒業生の声」を公開しました。本学を卒業した後、様々な分野で活躍されている方々にインタビューを行い、学生時代のお話や本学で学んだこと、現在の仕事に学びがどう生きているかなどについて深掘りしてお聞きしました。皆さん本学での学びや経験を力にしておられます。その強い気持ちがあふれるインタビュー記事をぜひご覧ください。



インタビュー記事はこちらから→





## 学生の活躍

経済学部

### 株式会社ヴィ・ド・フランスで学生考案のパンが発売されました

考案した学生からのおすすめポイント

クロワッサンブリュレ  
甘いだけではなく、ブリュレのほろ苦さがアクセントとなり最後まで飽きないおいしさです。

鶏ハムと水菜のサンド

これ1つでタンパク質や野菜などの栄養素をバランスよく摂れるように考えました。ゆずしょうがアクセントとなっています。

経済学部では株式会社ヴィ・ド・フランスと産学連携事業に取り組んでいます。今年度は「私が、食べてみたい、買ってみたい商品」を基本コンセプトに、商品の開発に取り組み、経済学部生から出された多くの提案の中から、開発を進めていただきました。試作品提案会ならびに企業での検討の結果、経済学部3年木村斗真さん、中川愛耶さん、中山美月さん、藤井果歩さんの提案した「クロワッサンブリュレ」「鶏ハムと水菜のサンド」が2024年1月15日(月)に、「照り焼きチキンのおにぎり風パン」が2月13日(火)に新商品(期間限定)として上前津店限定で発売されました。



学生考案のパンをPRしました

経済学部

### 経済学部学生が新たなモビリティ社会に関する新事業のアイデアを提案しました

経済学部では、2017年度から自動車販売や自動車リースを事業とするキリックスグループと共同プロジェクトを実施しています。2023年度は、「新たなモビリティ社会にキリックスグループが提供できる価値」というテーマで、本学部の河合勝彦ゼミ、茨木智ゼミ、下野由貴ゼミの9チームが、「学生ならではのアイデア」を提案しました。11月に最終発表会が開催され、審査の結果、「洗車革命」というテーマで新たな洗車サービス事業を提案した下野ゼミのチームが最優秀作品賞を受賞しました。今後は、その他のアイデアも含めて、実際に事業化することができるかについて検討していきます。



最優秀作品賞の受賞の様子

人文社会学部

### 観光まちづくりアワードで優秀賞を受賞しました

2024年1月23日(火)に、愛知県が主催する「観光まちづくりアワード」の最終審査会が開催されました。このアワードは、学生や社会人が愛知県の観光振興に関する取り組みを提案する企画です。今年度は、全国からの応募総数60件の中から、人文社会学部3年三浦哲司ゼミの提案「IKD ーイン飛鳥村 かわくだり だいさくせん」が一次審査・二次審査を通過しました。そして、今回の最終審査で優秀賞を受賞しました。三浦ゼミの提案は、子育て世代をターゲットに据え、名古屋に近い飛鳥村の優位性を生かし、海洋ごみを用いていかだを作成し、いかだ下りを楽しみながら、飛鳥村の歴史や文化、海洋汚染問題について学ぶというエコツーリズムの内容でした。



表彰式での記念撮影

人文社会学部

### 瑞穂区内の高校で選挙出前トークを開催しました

2017年度から、瑞穂区役所と人文社会学部 三浦哲司ゼミが連携し、瑞穂区内の高校での「選挙出前トーク」を開催しています。今回は2024年2月1日(木)、名古屋女子大学高等学校で、ゼミ学生が選挙に関する講義やクイズを担当しました。また、模擬演説・模擬投票・模擬開票でも、運営側として携わりました。模擬演説では、先生たちが候補者役に扮し、高校生も大いに盛り上がりました。その後の模擬投票では、高校生は悩みながらも一票を投じていました。参加した高校生からは「一票の大切さを学ぶことができ、18歳になったら必ず選挙に行こうと思いました」という感想が聞かれました。



学生による講義の様子

経済学部

### ISFJ日本政策学生会議2023政策フォーラムにおいて、経済学部 平賀ゼミ生の発表論文が分科会賞を受賞しました

2023年12月16日(土)、17日(日)に開催されたISFJ日本政策学生会議2023政策フォーラムにおいて、経済学部 平賀一希ゼミ 地域金融パート(経済学部3年 池田和希さん、塩津亮太さん、塩見勇晴さん、篠田優花さん)が発表した論文「事業性評価融資による地域銀行の貸出促進のための提言」が、金融・財政①分科会の分科会賞を受賞しました。

ISFJ日本政策学生会議は、「学生の政策提言による望ましい社会の実現」を理念とする学生シンクタンクです。学生が政策提言を行うにあたり、産官学それぞれの領域の専門家と議論を行い、内容をブラッシュアップさせ、12月の政策フォーラムにて政策提言論文の発表を行いました。今回のフォーラムには日本全国30大学48研究会が参加し、計124本の論文が発表されました。



平賀一希ゼミ集合写真

人文社会学部



## 人文社会学部学生が瑞穂区高校生向けに「名古屋のまちづくりについて考えるワークショップ」を開催しました

人文社会学部 三浦哲司ゼミでは、「名古屋のまちづくり」をテーマに、カードゲーム体験を通じてまちづくりについて考えるワークショップを、高校生向けに開催しています。今回は2023年12月21日(木)に、瑞穂区役所において、瑞穂区内の高校生16名の参加のもと、名古屋のまちづくりについて考えるワークショップを開催しました。参加した高校生は、学校も学年も異なる4チームに分かれ、カードゲームに挑戦しました。初対面同士でチームを組みましたが、和気あいあいとした雰囲気の中でゲームは進行していきました。参加した高校生からは、「名古屋のまちがもっと良くなるには何が必要かを考える機会になった」などの感想が聞かれました。



ワークショップの様子

経済学部



## ”祭り”を通してのまちづくりを企画しました

経済学部 濱口泰代ゼミでは、やっとかめ文化祭まちなか寺子屋の1つとして「熱田のまちづくりと利他」という講演会を企画しました。講師として地元熱田で地域のために活動している神谷秀典氏をお招きして、子どものころからの熱田神宮への思い、熱田まつりや堀川まつりを通してのまちづくり活動、そして過去から将来へつながる地域の人たちのつながりについてお話していただきました。

熱田地域には伝統的な熱田まつりをはじめ、比較的新しいまつりも継承されています。世代を超えた人々の利他精神と協力で維持されていることを学ばせていただいた貴重な機会でした。今後も熱田神宮周辺のまちづくりと祭りについてゼミに関わってきたいと思っています。



講演会での記念撮影

人文社会学部



## 人文社会学部 山本ゼミの取り組みに出入国在留管理庁から「賞詞」を授与されました

人文社会学部 山本明代ゼミのこれまでの取り組みに対し、2023年11月30日(木)に「出入国在留管理庁共生社会推進賞詞」が授与されました。歴代ゼミ生に代わって現3年生ゼミ生7人が在留支援課長より賞詞を受け取りました。この賞は、在留外国人との日常生活面での交流やコミュニケーションの拡大等を図る、創意工夫に富んだ取り組みを行う個人又は団体に対して贈られるものです。多文化共生をテーマに据える山本ゼミの歴代のゼミ生が名古屋市中区役所と連携して、「やさしい日本語」の啓発動画や日本語教室マップの作成、市民向けイベントでの啓発活動を行うなどの取り組みを長年行ってきたことが評価されました。



受賞した人文社会学部 山本ゼミの3年生

経済学部



## 第23回 Youth Enterprise トレードフェアで2つの部門賞を獲得しました

2023年11月26日(日)、京都大学吉田キャンパスを会場にトレードフェアが開催され、経済学部 鶴飼宏成ゼミ3年生2チームの開発商品が高い評価を得ました。本取組の特長は、自ら見出した問題に対する解決策を考案し、企業に協力を依頼して製品化、そして実販売を実施することにあります。4月からの努力が、2つの部門賞として実りました。

ビジネスモデルに新規性や独自性の高かったチームに授与される

「京都中小企業家同友会賞」

チーム名《木になる》

ワークショップやゲームを通して

国産木材について学ぶ

(椎原大翔さん、清水真人さん、広瀬三緒里さん)

ものづくりにおいて新しい発想のあったチームに授与される

「青少年と科学の会賞」

チーム名《rikas》

フリースクールに通う子たちに

学びの機会や新しい経験を提供

(松野百花さん、服部寛大さん、平賀凌哉さん、山川真愛さん)



チーム《木になる》



チーム《rikas》

芸術工学部



## ヤングケアラー啓発動画を制作し名古屋市長と視聴会を行いました

ヤングケアラーとは本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことで、責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。2021年度の実態調査では、ヤングケアラーの子ども自身がヤングケアラーであるという認識が薄いことが明らかとなっています。そこに焦点を当てた啓発動画を芸術工学部の学生サークル(顧問:栗原康行教授)が制作し、2023年12月7日(木)に名古屋市長と

視聴会を行いました。子どもが当事者意識を持てるよう、また、周りの大人や子どもがヤングケアラーとなっている子どもに早期に気付くとともに、見守り、寄り添いや具体的な支援につなぐことができる、そんな想いが込められた作品です。



「当事者の視点」編

ヤングケアラー 当事者の視点編  
～心開くとき～



「周囲の視点」編

ヤングケアラー 周囲の視点編  
～小さな世界が世界を変える～

動画はこちらから↓





## 学生の受賞

※学年は受賞時

### 薬学部 大学院 薬学研究科

#### 第33回 日本医療薬学会年会 優秀演題賞(口頭発表)

<テーマ>  
ネットワークメタアナリシスによる  
新規抗リウマチ薬の有効性と  
安全性の比較検討

<受賞者>  
薬学部 医薬品安全性評価学分野  
薬学科6年 大西 真由さん



#### 第20回 国際東洋医学会学術大会 ポスター発表賞

<テーマ>  
Development of the system to assess the acidity of Pinellia  
tuber using cultured cells and its traditional detoxification  
methods

<受賞者>薬学研究科 生薬学分野  
博士前期課程1年 能瀬 逸紀さん



#### 日本生薬学会第69回年会 優秀発表賞

<テーマ>  
ハンゲ針状結晶の加熱または  
生姜処理によるイガイガ減弱機序と  
レクチンの関与

<受賞者>  
薬学研究科 生薬学分野 博士後期課程3年 劉 艶さん



#### 日本結晶成長学会 第52回 結晶成長国内会議 学生ポスター賞

<テーマ>  
コロイド結晶の交互積層に関する  
数値シミュレーション

<受賞者>  
薬学研究科 コロイド・高分子物性学分野  
博士前期課程1年 川瀬 健太さん



<テーマ>  
コロイド粒子の交互積層による  
二次元ダイヤモンド格子の構築

<受賞者>  
薬学研究科 コロイド・高分子物性学分野  
博士前期課程1年 竹本 満里菜さん



#### 日本動物実験代替法学会 第36回大会 学生優秀演題賞(ポスター発表)

<テーマ>  
過小評価の回避を指向した  
皮膚感作性強度を予測する  
機械学習モデルの開発

<受賞者>  
薬学部薬学科 医薬品安全性評価学分野  
5年生 徳永 朱莉さん



#### 第44回 日本臨床薬理学会学術総会 優秀発表賞

<テーマ>  
電子カルテ情報と機械学習を活用した  
シスプラチン誘発性急性腎障害の  
予測モデルの構築

<受賞者>  
薬学研究科 レギュラトリーサイエンス分野  
博士前期課程2年 青木 優佳さん(写真右)

<テーマ>  
Comparison of the efficacy and safety  
of various anti-rheumatic drugs for  
rheumatoid arthritis:  
Network Meta-Analysis

<受賞者>  
薬学研究科 レギュラトリーサイエンス分野  
博士後期課程1年 劉 臨風さん(写真左)



### 芸術工学部 大学院 芸術工学研究科

#### 第4回 創生アイデアコンテスト 最優秀賞

<テーマ>  
無病眼鏡

<受賞者>  
芸術工学部  
産業イノベーションデザイン学科4年  
丸山 貴子さん



#### AIC23: Association Internationale de la Couleur (国際色彩学会) Honorable mention poster award

<テーマ>Steady State Pupil Response Elicited by Independent Stimulation of  
Melanopsin and Cone Photoreceptors

<受賞者>芸術工学部 産業イノベーションデザイン学科4年 滝川 瑞季さん(写真左)

<テーマ>Contribution of Melanopsin Photoreceptors to Brightness Perception  
by Steady Light Stimulation

<受賞者>芸術工学研究科 博士前期課程1年 藤田 優之さん(写真右)



#### 第44回 日本臨床薬理学会学術総会 優秀発表賞

<テーマ>  
拡大するオーファンドラッグロス:  
希少疾病治療薬の開発動向とR&D戦略

<受賞者>  
芸術工学研究科  
博士後期課程1年 塩谷 和昭さん



#### 第5回 建築系愛知14大学共通設計競技「金山駅北地区の駅前空間からまちを考える」最優秀賞

<テーマ>  
「地下から地上、南へ北へ」

<受賞者>  
芸術工学部 建築都市デザイン学科3年  
岡島 幸希さん、國定 司さん、西川 恒輝さん、  
箱崎 あいひさん、村上 奈乃葉さん



### 教員著書・発行物紹介

#### "Colloidal Self-Assembly" (Springer Lecture Notes in Chemistry, Volume 108)

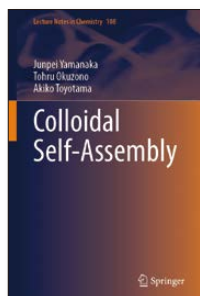
著者:薬学研究科コロイド・高分子物性学分野

教授 山中 淳平 先生

准教授 奥蘭 透 先生

准教授 豊玉 彰子 先生

出版:2023年10月18日 Springer-Nature社



### 「名市大ブックス」シリーズ最新巻15巻・16巻を出版!

社会貢献活動の一環として2020年から出版を続けている「名市大ブックス」シリーズ。その最新巻となる15巻・16巻の2冊を出版しました。それぞれテーマとなるキーワードは「子育て」と「看護」。ぜひともご一読いただき、学びを深めてみてください。



15巻/チャイルドサイエンスに学ぶ  
楽々子育てガイド

16巻/看護の世界～生活と健康を  
支える多様な看護







INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

# 国際交流

## ランス市長、 ランス・シャンパーニュ・アルデンヌ大学長が 本学を訪問しました

2024年2月13日(火)に名古屋市との姉妹都市であるフランスのランス市及び本学の拠点校であるランス・シャンパーニュ・アルデンヌ大学 (URCA) 関係者一行が本学を訪問しました。名古屋市とランス市は2017年、姉妹都市提携を締結し、18年に名古屋市立大学とURCAは大学間交流協定を結んでいます。訪問当日は学生交流協定の締結式を行い、今後両大学の学部生や大学院生を最大で3人ずつ派遣し合うことを合意。学術・学生交流の更なる強化を約束しました。

その後開催された講演会では、ヨーロッパの大学における国際化戦略の先進事例が紹介され参加者の意見が活発に飛び交いました。午後からはURCA関係者と医学研究科・附属病院・データサイエンス学部・薬学研究科の教員との交流が行われました。



### 大学院 人間文化研究科

## LAのスクールカウンセラーと人間文化研究科 臨床心理コース大学院生との交流会を行いました

2023年12月22日(金)、人間文化研究科臨床心理コース大学院生と、ロサンゼルス(LA)のスクールカウンセラー(SC)との交流会を行いました。LA統一学区カウンセリングコーディネーターのディクソン・ベレイ博士、バーミンガムコミュニティハイスクールカレッジカウンセラーのエリカ・ロベス氏、およびロサンゼルス名古屋姉妹都市委員会委員長のワインバーグ照子氏をお迎えしました。大学院生による本学臨床心理コースの紹介の後、LAのSC制度の特徴や日本(名古屋)との違いについて質問し、意見交換を行いました。多文化共生社会が進んでいるLAのSCからアドバイスや、ワインバーグ氏から次代を担う院生に「やりたいことにチャレンジして、決して諦めないで」という熱いメッセージをいただきました。大学院生にとって、刺激を受け視野を広げる良い機会になりました。



## 鶴舞中央図書館主催絵本の読み聞かせイベントに 本学留学生が参加しました

2023年12月16日(土)に鶴舞中央図書館主催、本学国際交流センター協力により「せかいのこたばでおはなし会」が開催され、本学の留学生3名が参加しました。このイベントは2014年から毎年開催されており、留学生がそれぞれの母語で絵本の読み聞かせをするというもので、本年は中国語、ベトナム語、英語で行われました。来場者は4歳前後の子どもとその保護者ら合わせて約30名でした。絵本の朗読以外にも、スライドショーを用いた出身地の紹介や各言語の数字の教え方を学ぶお楽しみ時間が設けられ、留学生が発音した数字を当てるゲームを行うなど、子どもから大人まで楽しみながら交流を深めました。



おはなし会の様子



読み聞かせを行った留学生のみなさん

### 大学院 医学研究科

## バルバドスから大臣が来校しました

2023年11月8日(水)中米カリブ海にあるバルバドスから、カーク・ハンフリーー国民強化・高齢者問題大臣一行が来学し、医学研究科を訪問しました。医学研究科から高橋智研究科長が出席して挨拶を行った他、飛田秀樹教授が「発達障害に対する治療と教育」、赤津裕康教授が「日本の高齢化と名古屋市立大学の取組」について説明し、意見交換を行いました。来訪者からは両テーマに対して高い関心が示され、今後同国と本学の間での幅広い協力活動につながる事が期待されます。



意見交換の様子

## 令和5年度 永年勤続表彰



永く、本学で勤め、支え続けていただいた皆さまへ、心より深く感謝いたします。今後も健康にご留意いただき、ますますのご活躍をお祈りいたします。

### 30年勤続表彰



**荻 隆文**  
教授(看)  
人生の3分の1が  
名市大、感謝いた  
します。



**池田 慎一**  
准教授(薬)  
学生の成長に貢  
献できていれば幸  
いです。



**尾崎 康彦**  
教授(看)  
一期一会が財産  
の楽しい学びの毎  
日でした。



**加藤 浩司**  
臨床検査技師(医)  
支えていただいた  
皆様、ありがとうございます。



**神谷 武**  
教授(診療担当)(医)  
共に歩み支えてい  
ただいた皆様に感  
謝致します。



**岸 由美子**  
看護師(病)  
温かく支えていた  
だいた皆様に感謝  
致します。



**土持 師**  
准教授(診療担当)(医)  
支えていただいた  
方々に報恩謝徳、  
感謝します。



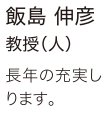
**寺澤 涼子**  
看護師(病)  
皆様からの温かい  
ご支援に感謝いた  
します。



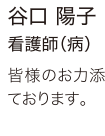
**畑 七奈子**  
係長(技術)(病)  
皆様のご支援の賜  
物です。感謝いた  
します。



**松波 直幸**  
歯科技工士(病)  
歴代のスタッフの  
皆様に感謝いた  
します。



**飯島 伸彦**  
教授(人)  
長年の充実した環  
境を感謝してお  
ります。



**谷口 陽子**  
看護師(病)  
皆様のお力添えの  
おかげと感謝し  
ております。

### 20年勤続表彰

**青山 セリカ** 看護師(東)  
**青山 峰芳** 教授(薬)  
**石田 雅美** 看護師(光)  
**上野 朋子** 主査(技術)(病)  
**大矢 進** 教授(医)  
**小栗 鉄也** 教授(診療担当)(医)  
**佐藤 聡子** 看護師(病)  
**新海 早知子** 看護師(病)  
**鈴木 麻子** 看護師(病)  
**鈴木 貞夫** 教授(医)  
**高橋 真理子** 教授(医)  
**田尻 恵美** 看護師(病)

**坪井 千陽子** 診療放射線技師(光)  
**仁川 英紀** 係長(技術)(東)  
**西川 未香** 看護師(病)  
**長谷川 恵子** 看護師(東)  
**原口 陽子** 看護師(病)  
**日比 悠里名** 衛生技師(医)  
**向口 武志** 准教授(芸)  
**毛利 悠美** 看護師(病)  
**安井 融** 係長(技術)(西)  
**山本 明代** 教授(人)  
**横山 和輝** 教授(経)  
**吉川 寛美** 講師(看)

(医):医学研究科 (薬):薬学研究科 (経):経済学研究科  
(人):人間文化研究科 (芸):芸術工学研究科 (看):看護学研究科  
(病):名古屋市立大学病院 (東):東部医療センター  
(西):西部医療センター (光):みらい光生病院

## イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
6.29 SAT	<b>看護地域連携センター事業</b> <b>第11回 地域連携セミナー</b> テーマ:「不登校」:あなたは何かができるか? ~内的・外的要因を理解し「死」を防ぐ医療~ 講演者: 岐阜大学 医学系研究科/連合創薬医療情報研究科 教授 加藤 善一郎	13:00~15:00 名古屋市立大学病院 大ホール 費用:500円 定員:200人程度	<申込> 申込受付期間:4月1日~6月13日 名古屋市電子申請サービス、往復はがき、メール TEL:853-8042 Eメール:n.center@med.nagoya-cu.ac.jp 参考URL:https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/

### PRIZE 受賞

※受賞期間:2023年7月~2023年12月頃  
※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

- 医学研究科**  
**第37回 人工知能学会全国大会 優秀賞**  
 <受賞者>  
 医学研究科 麻酔科学・集中治療医学 助教 中西 俊之
- 薬学研究科**  
**2023年度 日本生薬学会論文賞**  
 <受賞者>  
 薬学研究科 生薬学分野 教授 牧野 利明
- Asian Federation for Pharmaceutical Sciences (AFPS) Nagai Distinguished Scientist Award (学会賞)**  
 <受賞者>  
 薬学研究科 薬物送達学分野 教授 尾関 哲也
- 芸術工学研究科**  
**第57回 日本サイネデザイン賞**  
 <受賞者>  
 芸術工学研究科 建築都市領域 准教授 大野 暁彦


### ダイバーシティ推進奨励賞表彰式


本学のダイバーシティ推進宣言の趣旨に鑑み、多様性を尊重し様々な人材が活躍できる社会の実現に関連する優れた研究・活動等を行っている本学の教職員及び学生等に対して、学長から表彰を行うものです。

**研究/学生部門**  
 ・看護学部 性生殖看護学・助産学ゼミ  
 岩田 綾乃、小山 紗恵、和田 未来、田中 泉香、鈴木 幸子、脇本 寛子  
 ・芸術工学部建築都市デザイン学科 太幡研究室 土居 彩葉

**研究/教職員部門**  
 医学部附属東部医療センター 消化器内科 代表:林 香月、猪飼 千咲、近藤 啓、伊藤 恵介

**活動/教職員部門**  
 みどり市民病院・グリーンハート (敬称略)

詳細はこちらから→ 



### 交流会だより

#### 名古屋市立大学交流会 総会・講演会・懇親会を開催しました

2024年2月18日(日)に交流会総会・講演会を開催しました。総会では津田交流会会長および郡理事長の挨拶後、議事の審議を行いました。また、講演会では、中京テレビアナウンサーの恩田千佐子氏をお招きし、「アナウンサー生活34年目。今、伝えられること…」と題してご講演いただきました。その後、懇親会を開催し、学部や世代を超えて参加者が交流を深めました。

**名古屋市立大学交流会とは?**  
 名古屋市立大学、名古屋市立女子短期大学及び名古屋市立保育短期大学の卒業生や在学学生、退職・退官された教職員、現役教職員等を会員とする全学レベルの組織です。

名古屋市立大学交流会ウェブサイト→ 



恩田千佐子氏による講演会

### 寄附顕彰

#### 大学振興基金

**個人**  
 10万円以上 徳倉 正晴 様、服部 真紀 様  
 1万円以上 大瀧 利一 様、坪井 浩之 様、山崎 織江 様、山梨 美穂子 様  
 5千円以上 渡邊 和幸 様  
 非公表 川合 宏幸 様、郡 健二郎 様、下山 陽子 様、白神 宗男 様、中井 輝美 様、三宅 勝 様

#### 名市大生みらい応援基金

**個人**  
 100万円以上 高田 光也 様  
 10万円以上 田中 敬子 様  
 非公表 浅井 清文 様、伊藤 恭彦 様、香月 富士日 様、加藤 尚一 様、川合 宏幸 様、郡 洋子 様、坪井 瑞彦 様、中井 輝美 様

※五十音順。2023年10月1日から2023年12月31日までに寄附をいただき、公表に同意された方。  
 ※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。  
 ※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。



**【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】**  
 SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。  
 本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ総務部 広報室までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : ncu\_public@sec.nagoya-cu.ac.jp